

かしま灘楽習塾

だより



増刊号

〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 4631-1
 鹿嶋市まちづくり市民センター内
 TEL 0299 (85) 2601・FAX 0299 (85) 2602
 E-mail kashimanada_info@yahoo.co.jp
 URL http://www.geocities.jp/kashimanada_info

5周年記念式典



かしま灘楽習塾の節目となる今回の「5周年記念式典」は、盛況の内に終了し、関係者一同大変喜んでおります。また、ここまで実力をつけた楽習塾のパワーに感動をおぼえました。

「皆さん、知ってましたか？」

運営役員会の方針にもとづき、3月7日に実行委員会を立ち上げ、2回、3回と打ち合わせを重ねながら、式典及び塾祭のスケジュールや役割分担等、抜けが無いように準備を進めて参りました。笑顔の受け付け、心が和むお茶席、壇上を飾ったお花、駐車場案内、舞台進行等、各学部の教授、塾生、事務局が総力を挙げて、取り組んだ結果が、素晴らしい記念式典に繋がったと思います。ご協力を頂いた皆様、本当に有難うございました。

皆さま、

お疲れさまでした。



第4期成果発表会

第4期一年間の講座活動の成果発表会が行われ、客席からは温かい拍手をたくさん頂きました。



博士号第一号誕生



楽習塾第1期から第4期まで、累計17講座を修了した吉住瑞代さんが、5周年記念式典にて楽習塾博士第一号が授与されました。これからも楽習塾で楽しんで下さい。

記念講演

大田先生のお話



高齢化社会を迎え、避けて通れない「介護」について、思いを新たにする意味深い講演でした。

介護の基本的な考え方として、「自分ひとりで全部やろうと抱え込まず、家族や行政、外のサービスなど、借りられる力は何でも借りて介護をしていく姿勢がとても大切。介護は在宅でと考えがちですが、必要な施設、介護人数等を考慮した場合、基本介護は施設で行い、ショートステイは家庭で行う方が、双方にとってより良い介護が出来るシステムです。従って介護する人の負担を如何に適正にするかが、行政にとってこれからの大きな課題であるということでした。

◆◆お知らせ◆◆

◇リーダー選出

教授の皆様にはご連絡済みですが、名簿の提出前に、受講生の中からリーダーを選出していただきます。決定しましたら、名簿の名前の前に〇印をつけてください。

リーダーとは

- ①学部主催事業の実施に関すること
 - ②講座間の連絡調整に関すること
 - ③運営委員会への諮問に関すること
- などについて、塾生の立場からの意見をいただきたいと思います。
- ※7月25日に教授・リーダー会を予定しております。

◇名簿提出について

前回もお知らせいたしましたですが、名簿の提出期限は6/15(火)です。必ず事務局と確認をしてから入金して下さい。その際にリーダーの確認もいたします。

◇受講料・運営費の受領

第一回目の講座時に受講料と運営費を先生に納めて頂いております。その時の領収書は控えとして大切に保管してください。

クーリングオフ制度

実際に講座に参加してみたら内容が著しく異なっていることがあるかもしれません。そんな場合、各教授にお申し出があれば、講座をキャンセルでき、実費等を差し引いた受講料の全額が返還されます。(ただし、運営費は返還されません。また前年度よりの継続者にはこの制度は適用されません)なお、クーリングオフ期間以降の受講料の返還はありませんのでご注意ください。

■塾生の皆様へ

クーリングオフする場合は、月1回講座の場合は1回目の講座を受講した後、月2回講座の場合は2回目の講座を受講した後に、各教授まで申告して受講料等の精算を受けて下さい。

■教授の皆様へ

- ・ クーリングオフ確認後の必要作業
- ・ 塾生数が確定次第、名簿を作成する。
- ・ 事務局に名簿を提出(6月15日×切)
- ・ その際、事務局より運営費の振込金額の確認を受ける。
- ・ 書式に従い、運営費を振り込む(6月末×切)

ご注意ください!

講座を受講中「刃物で手を切ってしまった」「階段で転んで足にヒビが入ってしまった」など、通院するようなケガをしても、市民活動保険は適用されません。基本的に自己責任になります。ご自分で気をつけて行動してください。

気をつけてね...



今後の予定

- 4月1日 第5期講座開講
- 4月29日～5月5日 事務局GW休み
- 5月末 クーリングオフ期限
- 6月15日 名簿提出期限
- 6月26日 運営委員会
- 6月末 運営費入金期限
- 7月25日 教授・リーダー会
- 8月7日～8月16日 事務局夏休み

教授総会

3月13日に、教授総会・学部教授会及び懇親会が行われました。



教養学部



第二文芸学部



第一文芸学部



懇親会の様子

編集後記



いよいよ第5期もスタートし、教室からにぎやかな声が聞こえてきました。さて今回の増刊号では、開講にあたっての確認事項を改めて掲載しております。ご確認下さい。今期もどうぞよろしくお願いたします。